

「心の目がはっきり見えるようになりますように」 エペソ1：18－19

堀田修一 19・6・16

I 先行する三位一体の神の恵み。

1. 父なる神：私達の救いの「ご計画者」。私たちを愛し、私たちを世界の基の置かれる前から救いに選んでいて下さった！
2. 子なる神キリスト：私達の救いの「成就者」。キリストは、私たちを愛して、私達のすべての罪を負い、十字架で死に、私達の罪を償われました。その恵みにより、私達の罪は赦されます。
3. 聖霊なる神：私達に、キリストが成就された救いを、私達の心に「教え、私達の心に届けるお方」。

II 本日の箇所の祈りは、他の人の為にも、自分自身の為にも心から祈りたい！

「また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって」：18。神ご自身が私達の心の目をはっきり見えるようにして下さらなければ、神ご自身を、神の恵みを知り、信じ深く理解することが出来なかった。感謝！これからも祈り求める事が必要。「ふたりの目はさえぎられていて、イエスだとはわからなかった」(ルカ24：16) → 「イエスはパンを取って祝福し、裂いて彼らに渡された。それで、彼らの目が開かれ、イエスだとわかった」(24：30, 31)。「イエスは聖書を悟らせるために彼らの目を開いて、こう言われた」(24：45, 46)。「主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに心を留めるようにされた」(使徒16：14)。私達の心の目を開いて下さる神のお働きがあったからこそ、私達は主を信じて救われることが出来た。神に感謝！ますます神ご自身と神の恵みを知るために「私達の心の目を開いて下さい」と祈りましょう。

III 「神の召しによって与えられる望みがどのようなものか」：18。

神の「召し」の原語の意：呼び寄せ、招き、召し。「わたしを遣わした父が引き寄せられないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできません」(ヨハネ6：44)。私達が先に神を選んだのではなく、神が先に選び、私達を救い主のもとに呼び寄せ、招き、救われたのです。感謝します！「望み」：義認、聖化、栄化(罪のない者とされ神を見る)の望み、現在の試練の中でも主が共におられ支えて下さる望み、絶望しそうな時も、主が共におられ希望を与えて下さる望み、すべてを益(神に近づく恵み)にして下さる望み、今も、望みそのものであるキリストの姿に変えられ続ける望み、将来、主の時に天国に行ける望み、主の再臨の時、復活できる確実な望み。感謝します。

IV 「聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか」：18。

私達が主を信じて神の子とされ神の恵みにより今も与えられ、後に完全に受け継ぐもの(原語の意：遺産、相続財産、相続分、財産、所有物)とは＝

- ①「永遠のいのち」(神に愛され神を深く知り続け、神と共に永遠に生きる事の出来る命、主を信じた時から始まっている新しい命の人生(ヨハネ17：3))。
- ②「御国」(「世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい」マタイ25：34)。「神の国」(Iコリ6：9、15：50、ガラ5：21、エペソ5：5)。神の国の原語の意：神の支配、神の支配がなる領域、神の完全な支配により神の祝福された王国。神の国は、今も与えられている恵み(「わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに来てい

るのです」マタイ12：28)、主の再臨の時に完全に相続できる将来の望みでもある(エペソ1：14)。「すでに」と「いまだ」の間に私達は生かされている。

③「救い」(ヘブル1：14)。義認(罪が赦され義と認められる恵み。すでに)・聖化(主の御性質に変えられ続ける恵み。今、現在)・栄化(主の姿に完全に換えられる・救いの完成。将来、主の再臨の時)。素晴らしい驚くべき恵みの救いを感謝します！主の再臨の時、三位一体の神との直接的な交わりを相続出来る恵み。

V「また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように」：19。

1.「信じる者に働く神のすぐれた力」：私達の入信から望みが成就し、神の国を受け継ぐまで、今、現在、私達に働いている神の御力。

2.「信じる者に働く」神の優れた力。神は、神を信じる、信頼する、拠り頼む者に御力を現わされる。感謝！私達の神への信仰、信頼、すぎる、拠り頼む信仰を喜ばれる。「イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、『子よ。あなたの罪は赦されました』と言われました」(マルコ2：5)。

3.どのような時に神は御力を現わして下さり、何が神の力なのでしょう。

①宣教の時。弱さの中で「あなたがたといっしょにいたときの私は、弱く、恐れおののいていました。そして、私のことばと私の宣教とは、説得力のある知恵のことばによって行われたものではなく、御霊と御力の現れでした」Iコリ2：3, 4。

②「福音は…信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です」ローマ1：16。「十字架のことばは…救いを受ける私たちには、神の力です」Iコリ1：18。

③病、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難の中で。「主は、『わたしの恵みはあなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである。』と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう」IIコリ12：9。

④神の為の労苦の中で。「この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。私たちは、このキリストを宣べ伝え、知恵を尽くして、あらゆる人を戒め、あらゆる人を教えています。それは、すべての人を、キリストにある成人として立たせるためです(教会の使命)。このために、私もまた、自分のうちに働くキリストの力によって、労苦しながら奮闘しています」コロ1：28, 29。

※弱い私への主の力、支えの証し：怪獣の夢。主に励まされ続けて今がある！教会の使命を果たす、労苦する中で自分の弱さを知り、神に拠り頼み、神の力、キリストの力、御霊の力を体験するのです。自分の力で労苦しても上手く行きません。疲れ果ててしまいます。私達の中におられる主に拠り頼み、主の御力(人を愛する力、赦す力、主を証しする力、新来者を歓迎する愛の力、試練の中で共におられる主を覚え耐える力、主からの一日分を生きる力)で労らせていただく事は幸いな事。その為には、①ディボーション②礼拝③互いに主の恵みを分かち合い(主の恵みを分かち合う時、自分自身も恵まれる！)祈り合う恵みを通して、神の御力で強められる事が大切。

4.「知ることができますように」：神のすぐれた力は、人知をはるかに越えた偉大なものなので、深く知り、体験し続ける為には、知恵と啓示の御霊を求め、私達の心の目がはっきり見えるようになるように祈る事が必要です。祈り続けましょう。三位一体の主は、今も働き続けておられます。「主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに心を留めるようにされた」使徒16：14。本日の御言葉を、自分の祈りとして祈り求め続けましょう！